



久高島の戦前の暮らしを
おじい、おばあから聞き取り、
絵に起こしてゆく。
その経過報告です。

山崎紀和作品展 未来への羅針盤

久高島の戦前の暮らしをおじい、おばあから聞き取り、
絵に起こしてゆく。その経過報告です。

僕は現在、沖縄本島の東方海上に浮かぶ
久高島というところに住んでいます。

振り返ればことあるごとに、
島のおじい、おばあたちから

「戦前はね・・・」から始まる往時の暮らしの
間わず語りを聞かされてきたように思えます。

僕は、そんな幾つもの思い出話を
絵に描いてみることにしました。

試しに一つ描いてみました。
それがことのほか上手くゆきました。

他にも描いてみました。

「うーん、そーねえ、もっところ・・・」

「ここはこうじゃない」

「とーとー、そんなかんじ」

「いェー、なとーんとー、なとーんとー」

「とーとー、似ているねー」

「やっぱりあなたはいいかきのしえんしえーだねー」……………

続けられ続けるほどに描く場面は増えてゆき、
なんとも壮大なものごとになってゆきました。

その壮大さはいろいろな顔を持っていて
説明のしにくいものですが、

ひとつ言えることは、この中には、
私たちがこれから生きてゆく上での
大切なものたちが

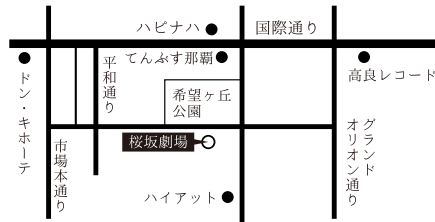
ちりばめられている、ということですよ。

未来への羅針盤

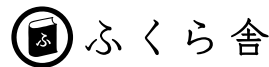
山崎紀和作品展



2016 9/16 (fri) — 10/2 (sun) 10:00 — 20:00



沖縄ざっか・アート・本



桜坂劇場 2F